

1. 大会名称 2019年度関東大学アイスホッケーリーグ戦
2. 主催 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
3. 協賛 茨城県アイスホッケー連盟・神奈川県アイスホッケー連盟・埼玉県アイスホッケー連盟
千葉県アイスホッケー連盟・栃木県アイスホッケー連盟・山梨県アイスホッケー連盟
4. 後援 公益財団法人日本アイスホッケー連盟・毎日新聞社・スポーツニッポン新聞社
5. 期間 2019年8月31日(土)～12月15日(日)
6. 会場 **ガイドドリンコアイスアリーナ** 〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25
東大和スケートセンター 〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1330-19
7. 大会事務局 〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25
公益財団法人東京都アイスホッケー連盟 TEL 042-467-8282 FAX 042-468-2131
8. 参加資格・登録 ◆選手及び役員は、大会開始前日(2019年8月30日)までに、2019年度の公益財団法人日本アイスホッケー連盟登録完了済みであること。
大会開始以降の選手の追加登録は原則認めない。
◆選手登録人数が6名(GK1名とスケーター5名)に満たなかったチームは、今大会に限り参加資格を失うものとする。
◆大学院生は参加資格を持たない。
9. 順位決定 勝ち点制により決定する。(ただし、Division Vの最終順位決定戦は除く)
10. 表彰式 2019年11月24日(日) Division I - A・II 20時～(ガイドドリンコアイスアリーナ)
2019年12月1日(日) Division I - B・Ⅲ～Ⅳ 19時30分～(ガイドドリンコアイスアリーナ)
2019年12月8日(日) Division V 15時～(東大和スケートセンター)
- *チーム表彰
・全てのDivisionの1位～3位チームを表彰する。
・フェアプレー賞は、Division I - Aより、全試合の反則総時間÷試合数が最小のチームを表彰する。
- *個人表彰
・全てのDivisionの最優秀選手賞(1名)、と最多ポイント賞をそれぞれ表彰する。
・ベスト6賞はDivision I - A・I - Bから、それぞれ表彰する。
- ◆各チーム、キャプテンを含め5名以上参加しユニフォーム・チーム旗・スケートシューズを持参する。
11. 保険の加入 大会参加チームは保険に加入し、保険証券または保険申込書(加入者がわかる明細)のコピーを8月22日(木)の代表者会議にて必ず提出する。
12. 入場料 一般 1,000円 高校生・中学生・小学生 500円 *但し、東大和スケートセンターでの試合は無料

13. 大会参加申込 指定様式(Excel)に記載し、2019年6月30日(日)迄に電子メールにて提出する。
参加申込書提出先メールアドレス:sakuma@tihf.gr.jp

14. 大会費

参加費	・ Division I - A	84,000円		
	・ Division I - B	62,000円		
	・ Division II	44,000円		
	・ Division Ⅲ～Ⅴ	42,000円		
試合費	・ Division I - A (上位)	57,500円	×	17 試合= 977,500円
	・ Division I - A (下位)	57,500円	×	14 試合= 805,000円
	・ Division I - B	57,500円	×	10 試合= 575,000円
	・ Division II	47,000円	×	7 試合= 329,000円
	・ Division Ⅲ	42,000円	×	7 試合= 294,000円
	・ Division IV	42,000円	×	6 試合= 252,000円
	・ Division V	42,000円(上位4チーム)	×	5 試合= 210,000円
	・ Division V	42,000円(下位4チーム)	×	4 試合= 168,000円
	・ 入れ替え戦	50,000円		
	・ 順位決定ラウンド(Division I)	57,500円		

- 支払期限 【厳守】
・大会参加費 2019年9月6日(金)
・試合費 2019年11月22日(金)
・順位決定ラウンド(Division I)・入替戦 2019年12月13日(金)

※振込先

銀行名:東京三協信用金庫 東伏見支店(店番号016)
口座名:公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟
ザイ) トウキョウトアイスホッケーレンメイ
預金種目:普通預金
口座番号:0100388

- ◆Division I - Group A 最終成績上位2チームが『第87回全日本アイスホッケー選手権大会』への出場権を得る。
ただし、公益財団法人日本アイスホッケー連盟により、関東大学アイスホッケーリーグに与えられる出場枠数などが変更された場合、この限りではない。

1. 競技方法・競技時間

Division I - Group A

全チーム2回戦総当たりのホーム&アウェー方式による予選リーグ戦を行い、予選リーグ戦の結果により、上位4チームと、5位から8位が決定し、上位4チームは最終順位決定リーグ戦を行う。
予選リーグ戦でのホームチームの設定は、1戦目がランキング下位チーム、2戦目がランキング上位チームをホームチームとする。最終順位決定戦のホームチームは、ランキング上位チームとする。
正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

Division I - Group B

全チーム2回戦総当たりのホーム&アウェー方式によるリーグ戦を行う。
ホームチームの設定は、1戦目がランキング下位チーム、2戦目がランキング上位チームをホームチームとする。
正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

Division II

全チーム1回戦総当たりによる予選リーグ戦を行い、予選リーグ戦の結果により上位3チーム、下位3チームが決定し、それぞれ最終順位決定リーグ戦を行う。
予選リーグ戦でのホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
最終順位決定リーグ戦においては、予選リーグ戦成績上位チームをホームチームとする。
正規 15分×3ピリオド 練習 10分 休憩1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

Division III~IV

全チーム1回戦総当たりによるリーグ戦を行う。
ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
正規 15分×3ピリオド 練習 7分 休憩1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分
*東大和スケートセンター開催の21時30分練習開始の試合は、練習終了後試合開始とする。

Division V

2つのグループに分け1回戦総当たりの予選リーグ戦を行う。予選リーグ戦の結果により、各グループ下位2チームは、同じ順位同士が対戦する。各グループ上位2チームは、タスキ掛けで試合を行い、その後、勝者同士・敗者同士の対戦により最終順位を決定する。
V 1 Group : ランキング 37・40・41・44
V 2 Group : ランキング 38・39・42・43
予選リーグ戦でのホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
最終順位決定戦のホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。
正規 15分×3ピリオド 練習 7分 休憩1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

* Division I - GroupA の予選リーグ戦及び、GroupB のリーグ戦において、第3ピリオド終了時同点の場合、両チーム3名ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト (以下「PSS」という) により勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
但し、Division I - GroupA の最終順位決定リーグ戦で第3ピリオド終了時同点の場合は、3分間のインターバル後、3 on 3 のサドンデス方式による正味5分間の延長ピリオドを行い、勝敗を決定する。
尚且つ同点の場合は、両チーム3名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
* Division II、III、IV、V のリーグ戦については第3ピリオド終了時同点の場合は、引き分け試合とする。
(Division V の最終順位決定戦は、第3ピリオド終了時同点の場合は、両チーム3名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。)

※全てのDivisionにおいて、10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。

- ① 点差が縮まった場合でも継続する。
- ② 次の場合は時計を止める。
 - a) 得点時には一時止めるが、レフェリーが本部席オフィシャルに得点を報告した後、直ちにスタートさせる。
 - b) 反則発生時には一旦止め、次のフェイスオフでバックをドロップ後、直ちにスタートさせる。
- ③ 反則時間終了時にプレイが止まっていた場合、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。

※ 順位決定は次のとおりとする。

- ・ Division I - A・B : 右図の通り勝ち点を与える。
- ・ Division I - A (上位4チーム) : 予選リーグ戦での勝ち点に最終順位決定リーグ戦の勝ち点を加算して最終順位を決定する。
- ・ Division II~V : 勝ち3点・引き分け1点・負け0点とする。

60分	PSS		60分
勝	勝	負	負
3	2	1	0

(Division II : 予選リーグ戦での勝ち点に、最終順位決定リーグ戦の勝ち点を加算して最終順位を決定する。ただし、予選リーグ戦で決定した上位と下位を移動する順位変動は行われない)

- ① 勝点の多い順
- ② レギュラータイムの勝数の多い順
- ③ 当該校の対戦成績
- ④ 当該校同士の試合での得失点差の大なるもの
- ⑤ 当該校同士の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑥ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑦ 全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑧ 全試合のペナルティタイム(分)の小さなもの
- ⑨ 2019年ランキング上位のもの

☆ Division I 順位決定ラウンド

Group Final Round

7位 (Division I - A 7位) VS 10位 (Division I - B 2位)
8位 (Division I - A 8位) VS 9位 (Division I - B 1位)
ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
正規 20分×3ピリオド 練習10分 休憩12分
上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、3分間のインターバル後、3 on 3 のサドンデス方式の5分間延長ピリオドにより勝敗を決定する。
尚且つ同点の場合は、両チーム3名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンデス方式による、両チーム1名ずつのPSSで勝敗を決定する。

☆ Division I - B・II の入替について

13位 (Division I - B 5位) VS 16位 (Division II 2位)
14位 (Division I - B 6位) VS 15位 (Division II 1位)
ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。
正規 20分×3ピリオド 練習10分 休憩12分
上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、両チーム3名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSで勝敗を決定する。

☆ Division間の入替について

Play-Off Division Series

19位 (Division II 5位)	VS	22位 (Division III 2位)
27位 (Division III 7位)	VS	30位 (Division IV 2位)
35位 (Division IV 7位)	VS	38位 (Division V 2位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームとする。

正規 15分×3ピリオド 練習 10分 休憩 1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時点の場合は、両チーム3名ずつのPSSにより勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSで勝敗を決定する。

自動昇格・降格

20位 (Division II 6位) 自動降格	⇔	21位 (Division III 1位) 自動昇格
28位 (Division III 8位) 自動降格	⇔	29位 (Division IV 1位) 自動昇格
36位 (Division IV 8位) 自動降格	⇔	37位 (Division V 1位) 自動昇格

2. 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則及び

公益財団法人日本アイスホッケー連盟の定めるルールによるものとする。

特に、以下の規則に関しては、怪我防止のため徹底する。

- 1) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイス・マスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。顎紐と頭の間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。
- 2) グローブ・ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニホームはパンツから出して着用する。

3. 補助規則

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
- 3) チームのすべてのプレーヤーは、同じ上着、パンツ、ストッキング、ヘルメットを着用しなければならない。
- 4) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない。
- 5) 選手の怪我防止の観点から、プレーヤーの用具やユニホームが正しく着用されているかを確認するため、以下の手順を定める。
 - ①整列時、正しく着用されていないプレーヤーには、直ちに改善することをレフェリーが指示し、チームに警告を与える。改善されなければ当該選手は試合に参加できない。
 - ②試合開始後、正しく着用していないプレーヤーに対してミスコンダクト・ペナルティを科す。尚、これはレフェリーの判断によりペナルティを科すものであり、チームからのアピールは一切受け付けない。
- 6) 練習中については、スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し是正させる。
- 7) 試合の際に役員（監督・コーチ等）のうち1名は必ずベンチ入りする（IDを着用しなければベンチ入りできない）
- 8) ベンチには、GK 2名・プレーヤー 20名の計 22名、役員 6名まで入れる。尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 9) タイムアウトは全ての Division の全試合で、各チーム各 1回使用できる。
- 10) オールメンバー表は練習開始 45分前までに必ず提出する。
- 11) 試合当日（試合開始時）試合を遂行するのに必要な最低人数（GK 1名とスケーター 5名）に満たないチームは、その試合を棄権したものとみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 12) ホーム・ビジター制度は全ての Division の全試合において適用する。ホームチームはプログラムに記載されている対戦カードの左側とする。
- 13) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ要求できる。
- 14) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、出入り口に近いベンチのチームから

先に速やかに退場する。その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方から退場する。

15) ベンチドアマンの取り扱い

- ① 当日の試合に出場しないが、選手登録をされている学生2名以内をベンチドアマンとして置くことができる。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載すること。（ただし、役員6名には含まれない）
- ② ベンチドアマンは、危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しく装備していない場合、その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

16) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止する。

17) ベンチ入りする学生スタッフ（マネージャー・トレーナー）は危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。レフェリーが規定に違反している学生を発見した場合、該当者をベンチから退場させる。ただし、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

18) 第2ピリオド・第3ピリオド開始時は、ファーストセットのみ、氷上上がる。

19) PSSの先攻・後攻の選択権は、バックツスにおいて決定する。

4. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手のチームは所定の用紙により公益財団法人東京都アイスホッケー連盟に届ける。

尚、試合中に起こった傷害に関して応急処置は行うが、その後は各チーム及び個人の責任とする。

観客も同様とする。

5. 注意事項

事前の連絡もなく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席、棄権した場合、また連盟規約違反をした場合は、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し、処分を科す。

ランキング	Division	
1	Division - I	Group - A (8 大学)
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11	Division - II	Group - B (6 大学)
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

ランキング	Division	
21	Division - III (8 大学)	
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	Division - IV (8 大学)	
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		

ランキング	Division	
37	Division - V (13 大学)	
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		

※ 2018年度から Division I Group - A の試合方式を変更（変更後は、3年間試合方式は固定）予選リーグ戦後、上位4チームによる最終順位決定リーグ戦を追加した。